



JPI催しのご案内

2020
3

公益社団法人日本包装技術協会

— 研究会の参加申し込み方法について —

JPIホームページより参加申し込みができます。
ホームページからのお申し込みを宜しくお願い致します。

●開催要領

- 会場** 公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
- 日時** 2020年3月11日(水) [第1部] 13:15~15:00
2020年3月19日(木) [第2部] 10:30~12:00 [第3部] 13:15~14:30
- 参加費** JPI法人・個人会員：無料／一般：3,300円(1部会、税込)

第1部 第231回包装資材研究会

3月11日(水)

13:15~15:00

【テーマ】器具・容器包装から溶出し、食品と共に摂取される微量な化学物質の安全性評価

食に対する国民の関心が高まる今日、食品中に混在する微量な化学物質の安全性にも注意を向ける必要がある。これまでこのような化学物質は食品添加物、残留農薬等を中心に評価・管理されてきたが、食生活の近代化に伴い、食品用器具及び容器包装に用いられるプラスチックから溶出し、食品と共に摂取される可能性のあるプラスチックのポリマー原料、添加剤についても同様に安全性評価・管理が求められている。一昨年の食品衛生法の改定で、我が国で器具・容器包装に用いられる原材料については安全性が評価され規格基準が決められた物質以外は、原則として使用してはならないとするポジティブリスト制度(PL法)が導入され、2020年6月の施行に向けて厚生労働省、食品安全委員会が現在、準備を進めている。食品安全委員会では意図的に食品に使用される化学物質に関しては、遺伝毒性が認められた場合は使用を許容すべきではないという厳しい姿勢を取っているため、器具・容器包装に用いられる原材料についても遺伝毒性が認められた場合はPLに収載しないのが原則である。本公演では、微量な化学物質の安全性評価を行う際の遺伝毒性評価の重要性と、近年その発展が著しいQSAR(定量的構造活性相関)による遺伝毒性化学物質の評価手法について紹介する。

【講師】 国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部・部長

【コーディネーター】 キューピー(株) 技術ソリューション研究所 包装管理士

日清食品ホールディングス(株) グローバルイノベーション研究センター 食品開発部 課長

本 間 正 充 氏

高 山 崇 氏

椎 名 徳 之 氏

第2部 第229回輸送包装研究会

3月19日(木)

10:30~12:00

【テーマ】振動・衝撃試験の基礎と試験規格の紹介

我々が消費する生活品は輸送工程において振動や衝撃にさらされます。また、鉄道や車等の輸送機器に設置される製品は、より長い時間、振動や衝撃を受けます。そこで製品を覆う包装材や製品そのものの耐振動・衝撃性を評価するため、振動・衝撃試験が検討されます。しかし、初めて見る規格にとまどったり、どのように試験を行えばよいかわからなかつたりします。本講義では、今まで振動・衝撃試験に携わったことのないもしくは振動・衝撃試験の代表的な規格を知りたい方を対象に、試験の方法や規格の紹介ならびに注意点について解説し、振動・衝撃に対する理解を深めていただきます。

【講師】(地独)東京都立産業技術研究センター 開発第一部 機械技術グループ 副主任研究員

【コーディネーター】 日本化工機材(株) 技術部 事業部長 包装専士

オリンパス(株) デザインセンター1ユニット3 課長

小 西 毅 氏

加 藤 千 明 氏

石 田 守 行 氏

第3部 第109回包装情報研究会

3月19日(木)

13:15~14:30

【テーマ】軟包材の環境負荷低減 —水性グラビア印刷を基軸とした環境対応パッケージのご紹介—

環境負荷という観点で、中国の廃プラ受け入れ禁止に端を発し、海洋プラ問題も含め、プラスチック製品である軟包材への風当たりがますます強くなっている。その中で軟包材への印刷方法の一つとして「バイオマスインキ」による印刷が、環境負荷低減の一つとして流通業界での主流になってきている。これに対し当社の主流印刷方法となっている「水性グラビア印刷」の「バイオマスインキ印刷」との違いや環境負荷について説明をさせていただきます。また、「環境対応」というキーワードに対し、様々な環境負荷影響がある中、現状では混乱も伴い、どのような環境負荷を低減効果に対するものが不明確になる場合がある。これらを分類し、それぞれのものに対する当社の考える、環境対応商品の提案を長所、短所を明確にしながらご紹介させていただきます。

【講師】 富士特殊紙業株式会社 生産本部 技術開発部・課長

【コーディネーター】 凸版印刷(株) 生活・産業事業本部 パッケージソリューション事業部 販売促進本部 販売促進部 環境ビジネスチーム 部長

ユニバーサル製缶(株) マーケティング戦略部 部長 包装管理士

鈴 木 貴 史 氏

川 田 靖 氏

小 崎 直 樹 氏

本研究会は包装や物流に関する専門知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

研究会の参加申し込み方法について

2019年度より、当会研究会のお申し込みを、ホームページからのみの受付とさせていただきます。
お手数でございますが、当会ホームページをご覧の上、研究会お申し込みページより、
参加登録を頂きたくお願い申し上げます。

URL : <http://www.jpi.or.jp/index.html>

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

公益社団法人日本包装技術協会 担当：佐藤 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970

●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <http://www.jpi.or.jp>

3 月度の見学会はございません。

第28回化粧品包装セミナー

●開催要領

- 日 程：令和2年2月27日(木) 12:30~16:50 ■会 場：公益社団法人日本包装技術協会 A会議室
■主 催：公益社団法人日本包装技術協会 ■定 員：80名
■参加費：会員14,300円 ・会員三名同時申し込み13,200円 一般18,700円（消費税・テキスト代含む）

●プログラム

| 時間 | 講演内容 | 講 師 |
|-------------|---|------------------------|
| 12:30~13:20 | 「ウレタンフォーム素材概論」 | ㈱イノアックコーポレーション 西村 嘉修 氏 |
| 13:30~14:20 | 「流通や通販現場での課題に対応した様々な包装形態・システムについて」 | レンゴー(株) 藤井 利明 氏 |
| 14:30~15:20 | 「泡スタンプハンドソープの容器開発 一楽しくて簡単な手洗いでキレイの習慣化を目指してー」 | 花王(株) 大西 洋 氏 |
| 15:30~16:50 | 質問タイム | 講師 企画委員 |

専用パンフレットにてお申し込み下さい。当会HP(<http://www.jpi.or.jp>)からもご確認頂けます。

◆お申込及びお問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:竹内 TEL:03-3543-1189 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

2019年度 医薬品包装セミナー

◆SDGs、医療安全の実現に向けた医薬品包装の役割を考える◆

- 日 程：令和2年3月13日(金) 10:00~16:00 ■会 場：(公社)日本薬学会 長井記念ホール
■参加費：会員1名 20,900円 *3名同時にお申込みの場合は 1名16,500円 / 一般1名 28,600円

| 時間 | テーマ | 講 師 |
|-------------|---|----------------------|
| 10:00~11:10 | 環境と包装 (新しい環境課題下でのバイオマスプラスチックの動向と医薬品包装) | (一社)日本有機資源協会 木村 俊範 氏 |
| 11:20~12:30 | 医薬品個装箱の改ざん防止機能を医療現場が求める 機能と併せて考える | 富山スガキ(株) 跡治 立多 氏 |
| 13:30~14:40 | 薬物治療と服薬管理 | ㈱MediFrame 和田 敦 氏 |
| 14:50~16:00 | 選ばれる医薬品表示や包装とは ~医療安全の観点から~ | 京都府立医科大学付属病院 四方 敬介 氏 |

◆お問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:竹内 TEL:03-3543-1189 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

第7回 包装近未来シンポジウム

— 脱炭素に向けて包装は今後どう取り組むべきか —

- 日 程：令和2年3月24日(火) 10:00~16:40 ■会 場：CIVI研修センター秋葉原 D205ホール
■参加費：会員1名 20,900円 ※同時に3名以上でお申込みの場合は1名16,500円 / 一般1名 28,600円 定員100名

| 時間 | テーマ | 講 師 |
|-------------|--|-------------------------|
| 10:00~11:00 | 気候変動リスクと「卒炭素」への道 | 国立環境研究所 江守 正多 氏 |
| 11:10~12:10 | サステナビリティに対して日本企業はどう対応すべきか ~中長期ビジョン、戦略策定の必要性~ | サステナビリティ日本フォーラム 後藤 敏彦 氏 |
| 13:10~13:40 | ネスレのパーパス(存在意義) -CSV(共通価値の創造)の実践- | ネスレ日本(株) 阿部 純一 氏 |
| 13:50~14:20 | 欧州および日本におけるプラスチックのマテリアル・ケミカル リサイクル動向並びにその一端を担うエレマの技術の特徴について | ㈱湘南貿易 橋本 則夫 氏 |
| 14:30~15:00 | (日本包装専士会「2030年の包装未来予測」から見た) 資源循環型社会を目指す容器包装の新潮流 | 大和製罐(株) 橋本 香奈 氏 |
| 15:10~16:40 | パネルディスカッション | 上記講師と企画委員 |

◆お申込及びお問合せ先◆
(公社)日本包装技術協会 包装近未来シンポジウム係 担当:竹内 TEL:03-3543-1189 FAX:03-3543-8970 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取扱いについて】

1. 個人情報は「(公社)日本包装技術協会 月例研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り、配布する場合があります。
2. 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。